

2020年3月26日付 韓国環境部プレスリリース

京畿道、江原道の野生イノシシから ASF ウイルス検出
(野生イノシシ 440-448 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1360225&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は、3月25日、京畿道(キョンギド)漣川郡(ヨンチョンゴン)旺澄面(ワンジンミョン)および中面、坡州市(パジュシ)郡内面(クンネミョン)民間制限線中で発見されたイノシシ死体8個体と江原道(カンウォンド)華川郡(ファチョンゴン)看東面(カンドンミョン)で発見された死体1個体から ASF ウイルスが検出されたと3月26日明らかにした。

□国立環境科学院は、3月26日、死体9個体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで漣川郡(ヨンチョンゴン)172件、華川郡(ファチョンゴン)171件、坡州市(パジュシ)82件、鉄原郡(チョルウォンゴン)23件、合計448件のイノシシ ASF 陽性事例となった。

○野生イノシシ ASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「発生地域の捜索チームを補強し、死体を集中的に捜索している。住民の方は、死体を発見した場合、触ったり近寄ったりせずに速やかに通報してほしい」と述べた。

以上